

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年2月15日

松本地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	15	課題区分	B		
実施機関	松本保健福祉事務所			担当	所属 松本保健福祉事務所
事業名	産科医療提供体制維持確保事業			電話	0263-40-1937
				E-mail	matsuho-somu@pref.nagano.lg.jp
事業概要等	目的 (目指す姿)	安心して出産できる産科医療体制の維持を図るとともに、地域で子を産み育てることの安心感を醸成し、出産・子育て環境の一層の向上を図る。			
	現状と課題	松本地域ではH11からH20にかけて、分娩を取り扱う施設が半減(13施設→7施設)し、産科医療体制が崩壊寸前の状況となった。そこで松本地域出産・子育て安心ネットワーク協議会を組織し、健診協力医療機関と分娩医療機関が「共通診療ノート」を活用し連携・役割分担を行う体制を構築した。 本体制への産婦の支持は高い一方で、産婦の3割は本体制を知らない状況にある。また本体制の維持には、地域住民の理解と協力が不可欠であるため、継続的な周知活動が必要である。			
	内容 (変更後の内容)	同協議会との協働による、産科医療機関の連携・役割分担等や出産・子育ての体験に関する地域住民を対象とした講演会の開催			
	事業期間	平成30年10月1日		～	平成31年1月31日
	成果目標 (成果指標)	出生数に対する管内産科医療機関の分娩取扱数の比率 100.0%以上			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考	
	講演会の開催	講師報償、会場費等	203,626		
	合 計		203,626		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	以下のとおり公開講座を実施した。 ・日程 平成30年11月4日(日) ・場所 長野県看護協会会館 ・テーマ「未来へつなぐ 未来とつながる地域で支える出産・子育て環境」 ・講演: SBC信越放送アナウンサー 中澤佳子氏 信州大学医学部保健学科長 金井 誠氏 ・参加者: 地域住民等約60名		講演会を通じて、健診協力医療機関と分娩医療機関が「共通診療ノート」を活用し連携・役割分担を行う体制について、地域住民の理解を深めることができた。(アンケートの結果、約90%が満足・やや満足と回答)		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	松本地域の産科医療提供体制維持に不可欠である地域住民の理解、協力を得るため、引き続き、地域住民に対しての広報活動を実施していく				